

冬の「ハリーキッター」2018

今年度もやります。冬のハリーキッター！

若手の先生2人が、子どものケースを通して考えたことをレポートにまとめて発表し、講師の白石先生に、発達的な視点から読み解いていただきます。

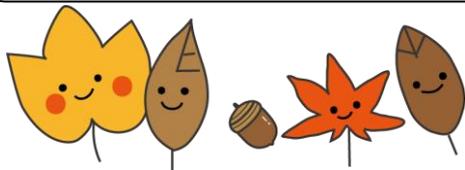
子どもの姿に、「なんでやろう?」と気持ちを寄せる2人のレポートからは、それぞれの学校で、子どもたちと関わっている先生たち一人一人にも、大切な気づきがあると思います。ぜひ、一緒に学び考え、「子ども理解」を深めませんか?

12月9日(日) 13時(受付12時半)~16時半

【会場】野洲養護学校

★学習会のテーマ★

「子ども達の姿をどう受け止めるか、
また伝えたい思いをどう引き出していくか」



発表しポート

山本美智子さん(草津養護)

「肢体不自由の子どものケース」

表現の少ない肢体不自由の子どもたちに、
どう向き合えば?子どもたちの気持ちは?

トこの関わりが大好きなA君。あこがれの
や大好きな友だちがいる集団だからこそ見せる姿...
守心できる関わりのなかで思いをたく
さん発信してくれるようになっていきます!

板倉光希さん(三雲養護)

「発達段階2,3歳の子どものケース」

しどい気持ちをうまく表現できない。時には暴
言や暴力も。だけで、それってワガママなの?

自分の気持ちを上手に伝えられないAちゃん。
でも彼女の思いはしっかりと育ってきていると思
う。本当に困っていること、本当の願いに気づけるよ
うになっていきたい...!



★学習会講師 白石正久氏 (龍谷大学教授)

~子どもたちの願いに寄り添って、子どもたちの視点で考えてみよう~

あなたのクラスの子どもたちは、日々どんな姿を見せてくれますか?
困った姿、嬉しい姿、時には驚くような変化があるのかもしれませんが。
その姿の背景には、必ず子どもの願いや発達的な原動力があります。
白石先生には、生活・障害・発達的な状況をふまえ、今の姿から、
これまでの姿、これからの姿を、わかりやすく意味づけし、科学的に
読み解いていただけます。

「発達の扉」など有名書も多数出版されています。

